SURE 静岡大学学術リポジトリ Shizuoka University REpository

児童養護の現場における解離と情動制御不全への対 処性を向上するモデルの開発

メタデータ	言語: ja
	出版者:
	公開日: 2024-03-19
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 田辺, 肇
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/0002000325

研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 5 年 6 月 2 7 日現在

機関番号: 13801

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2017~2022

課題番号: 17K04200

研究課題名(和文)児童養護の現場における解離と情動制御不全への対処性を向上するモデルの開発

研究課題名(英文) Model development to improve capabilities to cope with dissociation and affect dysregulation in a context of social care of children.

研究代表者

田辺 肇 (Tanabe, Hajime)

静岡大学・人文社会科学部・教授

研究者番号:60302361

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2.700,000円

研究成果の概要(和文):多くの児童養護施設職員や里親は解離の問題の理解と対応に困難をかかえている。簡明で直観的に理解可能なモデルを提示する事が有益であると考えられる。本研究の目的は、解離と情動調整に特に焦点をあてたそのようなモデルを開発することであり、そのために施設職員や里親が解離性の問題に気づき、理解し、対処する上で、アグラスの対し原であり、アブラスの対し原であり、アブラスを表し、アブラスの対し原であり、アブラスを表し、アブラスの対し原であり、アブラスを表し、アブラス とケアの効力感であり、子どもや養育者のエンパワメントにも繋がる構造的暴力ないし権力の観点からの考察も 行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義 児童養護の文脈でみられる解離や背景にある情動調整の問題は、虐待などの影響で生じるが、多様な様相を示し 個別性も大きく、現場を混乱させると同時に対応が難しい問題である。本研究は、そのような問題に対し、現場 での対応性の向上に直接焦点をあてた実践的な研究であり、現場への成果の直接的な還元が期待される。

研究成果の概要(英文): Many care workers and foster parents have great difficulties in managing and understanding dissociative problems. A simple and intuitively understandable model for the foster parents and residential care staffs may be helpful. Objective of this research is to develop such model especially focusing on dissociation and affect dysregulation, exploring the barriers and stepping stones for them to notice, understand, and cope with dissociative problems. One of the key concepts of the suggested model is an outlook and self-efficacy in care, which is discussed with the structural violence, or power background of empowerment of the care givers and children.

研究分野: 心理学・精神保健福祉

キーワード: 児童養護 子ども虐待 トラウマ 解離 情動調整不全 予防 里親 施設職員

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

児童養護の現場で見られる解離は、ストレス刺激をきっかけにした、現実との接触を失う「フリーズ状態」、予想不可能な発作的攻撃性、そのことについての後の健忘などの、体験の統合性の障害である。これは虐待等の不適切な生育環境による典型的な問題の一つであるが、その性質上、養育者や施設職員との関係を、一貫性を欠いた、著しく不安定なものにしてしまう。そのため児童養護の現場でもその対応に苦慮するものとなっており、コンサルテーション(指導助言)へのニーズも大きい。申請者もこれまでの研究成果を現場にフィードバックすべく努力を続けてきた。

しかし、解離への対処法は、養育者や施設職員に普及していない。その理由として、解離現象自体の不可解さに加え、解離の病理を扱った理論やモデルが、高度な専門知識を前提としているなど、精神医学や心理臨床等の基礎訓練を受けていない者には活用しにくいことが指摘できる。申請者の行った「早期解離性評定尺度 児童養護の日常場面で使える病的解離性予防のためのツール開発 」(2012年基盤(C))でも、作成された評定尺度の一定の有用性は示されたが、現場職員の既有の知識や経験如何によりバラツキがあることが示唆された。

そこで、本人・家族・施設職員・里親など、特別の基礎訓練を受けていない多くの当事者・関係者にとって分かり易く、比較的簡単な助言や研修(支援)を通して解離の問題に対処することが出来るようになるための、シンプルな説明モデル(理解のスキーマ)を提供することが必要であると考えた。ここで重要なことは、実際に当事者・関係者にとって、説明モデルが分かり易く、かつ実践的な有効性をもつかを、日本の児童養護の現場の現状を踏まえて確かめることだろう。

なお、子どもの解離の理解と支援については、障害単位(例えば、解離性同一性障害など)に 焦点を当てるのではなく、解離とその周辺の問題、特にアタッチメントの問題を統一的に捉えた 視点が欠かせない。近年では、trans-diagnositc な観点によるモデル化(複数の診断カテゴリ に跨がって認められる病理的な傾向性とその背景メカニズムについて捉えるもの)が拡がりを 見せている(たとえば、Brand & Lanius, 2014)。そして、多くのモデルで焦点が当てられてい るのが、情動制御不全である。申請者の作成した「早期解離性評定尺度」でも、病的解離性の発 達の背景要因として抽出された側面である。

しかし、近年発展してきたこれらのモデルは、認知神経科学の知見を参照している場合が多く、 心理士や福祉士でも、ましてや、里親や問題を抱えている子ども自身にとってはなおのこと理解 が容易ではなく、そのため、問題の理解を促し、また、そのコントロール(対処)を可能にする ために活用するには、不向きなものといわざるを得ない。

本研究では、これらの新たに発達してきた、臨床的に有益なモデルを参照しつつ、特に児童養護の現場で有用性の高い側面に焦点を絞り、また、適切なアナロジーを活用するなどして、現場で有効に機能するシンプルなモデルを作成することを目的としていた。その際、問題となっている現象の発生メカニズムを説明するだけでなく、その問題に対処する方法に繋がる(しかも、単なるハウツーでは多様な状況に対応する力にはならないので、現場や子どもの状況に応じて柔軟な対処法を導くような)視点を提供するものにする。具体的には以下の3点を検討する計画であった。

2.研究の目的

- 【1】解離・情動制御不全の問題に結びついている、乳幼児期の養育者との関わりの特徴を捉えるモデルを作成する。すなわち、「養育者との関係性への支援(発生予防)」に対して、担当者ならびに養育者にとって、問題に対処する方法に繋がる観点を提供するために有効であるかを、モデル評価の軸とする。
- 【2】解離・情動制御不全の問題に結びついている、早期小児期の特徴を捉えるモデルを作成する。この点については、すでに「早期解離性評定尺度」の開発によって一定の成果は得られている。しかし既述のとおり、"現場当事者の観点からみた"有用性は、充分とはいえない。
 - 一方、施設職員や里親との日々の関わりを改善することで、解離・情動制御不全の問題をある

程度コントロールできる(あるいは、職員や里親の統制感を高め、前向きに関わりを工夫し、問題に対処していこうとする態度を醸成することができる)ことが、これまでの研究で明らかになっている(「里親と里子に対するアタッチメントに焦点をあてたプログラムの開発」(2012年基盤(C)など)。

そこで、このモデルでは、養育者との厳しい関係の中で形成され、維持されている、子どもの解離・情動制御不全について、新たな関係の中でその問題の改善を狙う「早期小児期のアタッチメントを軸とした支援(固定化予防)」に対して、施設職員や里親にとって、問題に対処する方法に繋がる観点を提供するために有効であるかを、モデル評価の軸とする。

【3】早期小児期の問題が、青年期以降の社会適応の不全に結びつく経路について捉えるモデルを作成する。児童養護の領域で最も職員を悩ませているものの一つが、解離・情動制御不全の問題と結びついた、突発的な攻撃性の爆発、学業不振や意欲の低下を伴う社会不適応、それらと結びついた非行傾向への対応である。欧米の解離・情動制御不全の研究領域では、里親のみならず教員との関係にも焦点を当て、青年期の学業成績や学校適応の問題への予防的支援がホットな主題として採り上げられている。本課題でも青年期に至るまでの、問題の慢性化・複雑化の予防に寄与するモデルの作成にアプローチする。

3.研究の方法

本研究は、全体として目的【1】(発生予防・乳幼児期)【2】(固定化予防・幼児児童期) 【3】(複雑慢性化予防・青年期)に対応する3つのフェーズにおける焦点を当てる。この3つのフェーズについて以下の手順で研究を進める。なお、具体的に関与するフィールドは、子育て支援、里親支援、乳児院・児童養護施設・情緒障害児短期治療施設などの施設処遇の現場である。

具体的には、以下の4つのフェーズで進める計画であった。

- A)現場の実際の把握
- B) 現場に即した効果の測定の指標の確定
- C)仮のモデルの作成
- D) 最終的なモデルの検証

各フェーズに対応する現場につき、また、里親と施設養護とでは著しく異なる面があるため、それらの現場毎に、3つ以上のフィールドを確保する。その上で、B)の指標による現状をベースラインとして、モデル導入後の担当者の受け止めや子どもの状態の改善を確認する。

4. 研究成果

社会状況、ならびに研究分担者の状況変化などの要因のため、C)およびD)の検討が著しく 遅滞することとなった。研究期間の延長により完成を試みたが、現場での対面による実践的な研 究活動の再開は、期間終了後にずれ込んだため、現段階ではD)の最終的な成果を得ていない。 しかし、C)における成果としていくつか示唆的な観点も得られており、今後、延長期間の間 に準備を重ねてきたC)およびD)による検証のため現場での展開を進め、成果を還元する予定 である。

現段階までの主な成果は以下の通りであった。

児童養護の現場で、施設職員や里親にとって、解離・情動調整不全の問題に直面した際の困難・困惑・対処可能性について、および、研修等が実践に結びつかない場合について、分析を行った(Tanabe & Tokuyama, 2019)。

里親や施設職員との協働経験豊富な児童養護の文脈で活動してるスタッフに、主な主題として、 里親や施設職員が、子どもの解離(並びに情動調整不全)の問題について、気付き、理解し、対処する上で障壁・障害となるものは何か、 子どもの特別なニーズへの対応について訓練を受けて居ない里親や施設職員が、それらの問題を克服し、支援的で治療的な相互作用を発展させるための効果的な方法は何か、に焦点をあて、聞き取りを行った。その結果、里親や児童養護施設職員にとって、シンプルで直観的に理解可能な、情動調整不全と解離の問題に、現場で気付き、理解し、対応するための、説明モデルの鍵となる有用性の指標は、見通しがつくことと、ケアの効力感(efficacy)であった。

各インフォーマントの示した支援モデルの枠組みは、強調点の違いなど多様性を示したが、抽象的レベルでは極めて類似していた。すなわち、個別性、具体性を重要な要素としており、里親や施設職員の、あるいは、子どもや施設等の、特性や状況に応じて個別のアプローチを採ることを重要視していた。このことは、当初想定していた、誰にも分かり易いシンプルなモデルを開発し、それを展開していくという実践への展開の計画がならずしも適当では無いことを示してい

る。むしろ、各現場や職員、そして、彼らが支援している子どもの状況に応じて、個別、具体的な説明モデル、あるいは、理解と関与の枠組として機能する分かり易い「考え方」を呈示することと、そのための基本的なスタンス(指針)を示すものであった。

それらの主要な要素は以下の通りであった:

《具体性》「理論よりも具体的な事例史上の出来事を軸に理解を促す」「対処法については極めて 具体的なものを提案する」

《個別性》異なる対処法が必要となる問題については、各々異なる説明モデルを提案する」各々の里親や施設職員は理解において、異なる経路や枠組みを持っており、それに合わせる必要がある。

《関係性》「子どもにとって安心できて大切な対象になることと同時に、安全と自律性を維持するために必要な枠を守り統制を行う」「スタッフ間の関係性も、権力関係によらず、相互信頼と相互尊重に基づくものである必要がある」

《効力感と見通し》「安定した関係性と脱統制不全は、セルフケアの効力感と日常生活の見通しをもたらす」「具体的な対処法による里親や施設職員のエンパワメントはケアの自己効力感と見通しをもたらし、それにより、支援的で治療的な相互作用に結びつく」

具体的な個別のケースに基づく対処の積み重ねが、他のケースに適用可能な視点の獲得に結びつき、それが、効力感と見通しに繋がる。そのような展開に結びつくような説明モデルを提示する事が、里親や施設職員のエンパワメントに繋がり、ひいては子どもの情動調整不全等の問題の安定化に繋がると考えられる。

5 . 主な発表論文等

4 . 巻 15 ※ 15 ※ 15 ※ 15 ※ 15 ※ 15 ※ 15 ※ 15	
J. Sax 標題 Soles of childhood maltreatment, personality traits, and life stress in the prediction of severe premenstrual symptoms. 3. 削疑名 BioPsychoSocial Medicine	
2 . 論文標題 Roles of childhood maltreatment, personality traits, and life stress in the prediction of severe premenstrual symptoms. 3 . 能誌名 BioPsychoSocial Medicine ### ### ### ### ### ### ### ### ### #	
Roles of childhood maltreatment, personality traits, and life stress in the prediction of sewere premenstrual symptoms. 3. 総註名 BioPsychoSocial Medicine #報論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s13030-022-00240-7 オープンアクセス オープンアクセス 1. 業者名 Toyoshina, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文報音 Archives of Clinical Psychiatry おープンアクセス おープンアクセス おープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 業者名 Toyoshina, K. Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 4. 巻 49 40 40 40 40 5. 発行年 2022年 Archives of Clinical Psychiatry おープンアクセス おープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 業者名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tanada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文報題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 1. 業者名 Frontiers in Psychology 10.3389/fpsyg, 2022.1083637 オープンアクセス 1. 業者名 Terao, I., Morishita, C., Tanada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2. 論文報題 Ardicative temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 純誌名 Frontiers in Psychology 1. 業者名 Terao, I., Morishita, C., Tanada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2. 為文報題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 2. 為文報題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 純誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	
severe premenstrual symptoms. 3. 練誌者 BioPsychoSocial Medicine	
3. 触試名 BioPsychoSocial Medicine 信義論文の01(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s13030-022-00240-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Toyoshina, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文構造 Archives of Clinical Psychiatry 「根義論文のD01(デジタルオプジェクト識別子) 10.15761/0101-6083000000332 オープンアクセス 「大・オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文構造 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文措題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. オープンアクセス 「最新論文のD01(デジタルオプジェクト識別子) 1. 著名名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文措題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. オープンアクセス オープンアクセス コープンアクセス 「最新論文のD01(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2022.1063637 オープンアクセス 「最新的な関係のD01(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2022.1063637 オープンアクセス 「日本名) 「日本名としている(また、その予定である) 1. 著名名 「Frontiers in Psychology 「日本名としている(また、その予定である) 1. 著名名 「Frontiers in Psychology 「日本名としている(また、その予定である) 1. 著名名 「Frontiers in Psychology 「日本の日本の関係を表現する。 「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
BioPsychoSocial Medicine article No 11 article No 11 flashiaxのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-022-00240-7	
高報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-022-00240-7 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Toyoshina, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 解誌名 Archives of Clinical Psychiatry 1. 著者名 Archives of Clinical Psychiatry 2. 論文標題	後の頁
高報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-022-00240-7 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Toyoshina, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 解誌名 Archives of Clinical Psychiatry 1. 著者名 Archives of Clinical Psychiatry 2. 論文標題	o 11
10.1186/s13030-022-00240-7 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 巻 15 競行年 2022年 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3 . 辨誌名 Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tarabe, H., and Inoue, T. 2. 論文語 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism adult volunteers from the community. 3 . 辨話名 Frontiers in Psychology 10:3389/fpsyg. 2022.1063637 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 5 . 発行年 2022年 10:3389/fpsyg. 2022.1063637 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 5 . 発行年 2022年 10:3389/fpsyg. 2022.1063637 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ferao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 10:3089/fpsyg. 2022.1063637 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ferao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2	
10.1186/s13030-022-00240-7 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 巻 7 で	
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Toyoshima, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry 6. 最初と最後の責 19-25. 2歳数論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.15761/0101-6083000000332 7ープンアクセス 1. 著名名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 6. 最初と最後の責 10.3389/fpsyg.2022.1063637 7ープンアクセス 1. 著名名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 1. 7ープンアクセス 1. 著名名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2. 10.23年 4. 巻 2 11. 著名名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2. 10.23年 4. 巻 2 12. 論文課題 ArJシアクセス 1. 著名名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2. 10.23年 4. 巻 2 1. 差別課題 Arlfective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 独誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	/
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Toyoshina, K., Inoue, T., Wasuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文構題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry 10. 15761/0101-60830000000332 4. 巻 17ンアクセス 11. 著者名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文構題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 第記論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg, 2022.1063637 第記論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg, 2022.1063637 第記論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg, 2022.1063637 11. 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 10.016, Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2 1. 書者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2 2 2. 論文機類 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	月
### A - プンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著書名 Toyoshina, K., Inoue, T., Wasuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 4. 巻 49 49 49 4. 巻 49 40 40 40 40 40 40 40 40 40	
Toyoshima, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry	-
Toyoshima, K., Inoue, T., Masuya, J., Fujimura, Y., Higashi, S., Tanabe, H., and Kusumi, I. 2. 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry	
2 論文標題 The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 練誌名 Archives of Clinical Psychiatry a a a management	
The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry 6. 最初と最後の頁 19-25. a 読め有無 10-15761/0101-60830000000332 有	
The mediating effects of cognitive complaints on the relationships between childhood maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. . 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry aixing archives of Clinical School ar	
maltreatment, trait anxiety, and functional disability in adult community volunteers. 3. 雑誌名 Archives of Clinical Psychiatry	
Archives of Clinical Psychiatry 6 . 最初と最後の頁 19-25. 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
Archives of Clinical Psychiatry 19-25. a 戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
書職論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15761/0101-60830000000332 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) I. 著者名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tamabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 電読の有無 10.3389/fpsyg.2022.1063637 オープンアクセスとしている(また、その予定である) I. 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2 Inoue, T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	~~~~
10.15761/0101-6083000000332 有 国際共著 コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ際共著 コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コ際共著 コミ 油文標題	
### 10.15761/0101-60830000000332 有	
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 5. 発行年 2022年 6. 最初と最後の頁 1063637 5. 報行 2022年 13. 本書名 Frontiers in Psychology 6. 最初と最後の頁 1063637 7. 東京の有無 10.3389/fpsyg.2022.1063637 1. 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2 Inoue, T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	<u>.</u>
### A - プンアクセスとしている(また、その予定である) 著者名	月
### A - プンアクセスとしている(また、その予定である) 著者名	
Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology a 読述の有無 10.3389/fpsyg.2022.1063637 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & Inoue, T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	_
Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology application of the community of the community. 5. 発行年 2022年 6. 最初と最後の頁 1063637 application of the community	
Nibuya, R., Shimura, A., Masuya, J., Iwata, Y., Deguchi, A., Ishii, Y., Tamada, Y., Fujimura, Y., Tanabe, H., and Inoue, T. 2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 「おっプンアクセス 「オープンアクセスとしている(また、その予定である) 「・ 著者名 「Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & Inoue, T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	
2. 論文標題 Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 高載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2022.1063637 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Terao,I., Morishita,C., Tamada,Y., Masuya,J., Fujimura,Y., Toda,H., Kusumi,I., Tanabe,H., & 1noue,T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	
Complex effects of childhood abuse, subjective social status, and trait anxiety on presenteeism in adult volunteers from the community. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 「記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2022.1063637 「本ープンアクセス 「本ープンアクセスとしている(また、その予定である) 「著者名 「Erao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & Inoue, T. 2 . 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3 . 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	
in adult volunteers from the community. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 高戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2022.1063637 有 オープンアクセス コ際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2 Inoue, T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 6. 最初と最後の頁 e94	
B . 雑誌名 Frontiers in Psychology a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	
Frontiers in Psychology 1063637 調整論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 後の百
at imimix のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	及い只
10.3389/fpsyg.2022.1063637 有	
10.3389/fpsyg.2022.1063637 有	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Terao,I., Morishita,C., Tamada,Y., Masuya,J., Fujimura,Y., Toda,H., Kusumi,I., Tanabe,H., & 2 Inoue,T. 2.論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3.雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports A . 巻	<u></u>
** オープンアクセスとしている(また、その予定である) - ** . 著者名 Terao, I., Morishita, C., Tamada, Y., Masuya, J., Fujimura, Y., Toda, H., Kusumi, I., Tanabe, H., & 2	有
**	
Terao,I., Morishita,C., Tamada,Y., Masuya,J., Fujimura,Y., Toda,H., Kusumi,I., Tanabe,H., & lnoue,T. 2 .論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3 .雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 2 .発行年 2023年 6 .最初と最後の頁	-
Terao,I., Morishita,C., Tamada,Y., Masuya,J., Fujimura,Y., Toda,H., Kusumi,I., Tanabe,H., & lnoue,T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 2 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁	
Inoue,T. 2. 論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 e94	
2.論文標題 Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression severity. 3.雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 e94	
Affective temperaments mediate the effect of childhood maltreatment on bipolar depression 2023年 severity. 3.雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports 6.最初と最後の頁 e94	
severity. 3.雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports e94	
3.雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports	
Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports e94	後の百
	区の只
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.1002/pcn5.94 有	有
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_

1. 著者名	4 . 巻
白井 千晶	73
2.論文標題 親の複数養育の現状と課題について: 里親委託率の上昇に伴う今後のあり方	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 人文論集	6 . 最初と最後の頁 A1-A17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 白井 千晶	4.巻 73
2.論文標題 里親委託の現状と課題 : 里親の共働き、 複数児受託、アドミッション・ケアに関する里親アンケート調査から	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 人文論集	6.最初と最後の頁 75-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 徳山美知代	4.巻 223
2. 論文標題 社会的養護における包括的性教育 児童養護施設を中心に	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 こころの科学	6.最初と最後の頁 49-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 中井(松尾)和弥・福井義一	4.巻 35
2.論文標題 日本人において小児期逆境経験が喫煙や飲酒・身体疾患・自殺企図に及ぼす影響	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research	6.最初と最後の頁 63-70
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.210903143	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Lei Huijie, Chen Chong, Hagiwara Kosuke, Kusumi Ichiro, Tanabe Hajime, Inoue Takeshi, Nakagawa	13
Shin	
2 . 論文標題	5.発行年
·····	
Symptom Patterns of the Occurrence of Depression and Anxiety in a Japanese General Adult	2022年
Population Sample: A Latent Class Analysis	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychiatry	10
,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyt.2022.808918	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Deguchi Ayaka、 Masuya Jiro、 Naruse Mayu、 Morishita Chihiro、 Higashiyama Motoki、 Tanabe Hajime、	Volume 17
Inoue Takeshi, Ichiki Masahiko	7014
	F 交流左
2. 論文標題	5.発行年
Rumination Mediates the Effects of Childhood Maltreatment and Trait Anxiety on Depression in	2021年
Non-Clinical Adult Volunteers	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuropsychiatric Disease and Treatment	3439 ~ 3445
nodropojomati io produco dia modifica	0.00 0.10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2147/NDT.\$332603	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Morishita Chihiro、Higashiyama Motoki、Ono Miki、Honyashiki	Volume 18
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi	F 36/-/-
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題	5.発行年
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood	5.発行年 2022年
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題	
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2.論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood	
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers	2022年
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	2022年 6 . 最初と最後の頁 253~263
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	2022年 6 . 最初と最後の頁 253~263
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2.論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2. 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3. 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 -
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 -
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S310010	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766
Mina、Iwata Yoshio、Tanabe Hajime、Inoue Takeshi 2 . 論文標題 Childhood Victimization and Neuroticism Mediate the Effects of Childhood Abuse on Adulthood Depressive Symptoms in Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S337922 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nakazawa Hiroshi、Masuya Jiro、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi、Ichiki Masahiko 2 . 論文標題 Interpersonal Sensitivity Mediates the Effects of Childhood Maltreatment on the Evaluation of Life Events and Anxiety States in Adult Community Volunteers 3 . 雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S310010	2022年 6.最初と最後の頁 253~263 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 Volume 17 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 2757~2766

1 . 著者名	4 . 巻
白井千晶	7
2. 論文標題	F 発行生
	5.発行年
非血縁的親子を形成した子どもの立場の人生構築と中期親子・親族関係:養子縁組 を例に	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生殖心理学会誌	34~41
口本土组心理学会疏	34 ~ 41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
白井千晶	64号
2	F 35/-/-
2.論文標題	5.発行年
生みの親の尊厳と知る権利:生みの親・養子・養親三者の尊厳と権利のために	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3. 粧誌台 養子縁組と里親の研究 新しい家族	61~70
良」※※位し土机ツ別ス 別 UV 外水大	01 70
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	#
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
白井千晶	72-2
0	= 7V./= h=
2.論文標題	5.発行年
出生前検査とダウン症候群を事由にした養子縁組 自己責任論と他者養育	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人文 論集(静岡大学)	A33~A44
八文 端来(肝凹八子)	A33 A44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
安藤藍、白井千晶	12
2	F 35/-/-
2.論文標題	5.発行年
ファミリーホームで暮らした元子どもの声	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3. 雑誌名 社会的養護とファミリーホーム	60~75
TL公川民成Cノアスソールーム	00 - 73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
- -	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名中井(松尾)和弥、福井義一	4.巻 61
2 . 論文標題 小児期逆境経験が身体症状による負担感に及ぼす影響	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 心身医学	6.最初と最後の頁 186~194
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15064/jjpm.61.2_186	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Forslund Tommie、Granqvist Pehr、van IJzendoorn Marinus H.、(37名略)、Kondo-Ikemura Kiyomi、(19名略)、Zimmermann Peter、Feldman Ruth、Spangler Gottfried、Zeanah Charles H.、Dozier Mary、Belsky Jay、Lamb Michael E.、Duschinsky Robbie	4.巻 24
2.論文標題 Attachment goes to court: child protection and custody issues	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Attachment & Human Development	6.最初と最後の頁 1~52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14616734.2020.1840762	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 徳山美知代・田辺肇	4.巻 20
2.論文標題 児童養護入所児童に対する自立に向けた包括的性教育の検討 施設内虐待予防と性に関連する課題からの 回復を目指す支援	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 東京成徳大学臨床心理学研究	6.最初と最後の頁 1-9
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 近藤清美	4.巻 68
2 . 論文標題 アタッチメント理論の我が国への適用	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 教育と医学	6.最初と最後の頁 12-20
 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 14
	4.巻
近藤清美	67巻678号
2.論文標題	5 . 発行年
わが国においけるアタッチメント理論をめぐる問題	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
- APRO-M	
青少年問題	2-9
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンテクピスとはない、又はオープンテクピスが四無	_
	I . W
1.著者名	4 . 巻
Toyoshima,K., Inoue,T., Masuya,J., Fujimura,Y., Higashi,S., Tanabe,H., Kusumi,I.	15(10)
2.論文標題	5.発行年
Structural equation modeling approach to explore the influence of childhood maltreatment in	2020年
adults.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS ONE	e0239820 [1-15]
. ===	5525525 [1, 10]
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1371/journal.pone.0239820	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
is provided that (with the first of the control of	<u> </u>
4 ***	4 Y'
1.著者名	4.巻
Tanaha Haiima Takuwama Mishiya Fukui Vashikazu	32
Tanabe Hajime、Tokuyama Michiyo、Fukui Yoshikazu	V=
Tanabe hajime, Tokuyama Michiyo, Fukut Yoshikazu	
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma	5.発行年 2020年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名	5.発行年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名	5.発行年 2020年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105
 論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有
 2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2477~2485
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse、affective temperament、and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 国際共著 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2477~2485
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2477~2485
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse, affective temperament, and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/NDT.S209100	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2477~2485
2.論文標題 Affect dysregulation and dissociation from child abuse trauma 3.雑誌名 Journal of Health Psychology Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11560/jhpr.180611104 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Higashiyama Motoki、Hayashida Taito、Sakuta Keisuke、Fujimura Yota、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe Hajime、Kusumi Ichiro、Inoue Takeshi 2.論文標題 Complex effects of childhood abuse、affective temperament、and subjective social status on depressive symptoms of adult volunteers from the community 3.雑誌名 Neuropsychiatric Disease and Treatment	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 99~105 査読の有無 国際共著 4 . 巻 Volume 15 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2477~2485

1.著者名	4 . 巻
德山美知代	22
IN THE PARTY OF TH	
0 *A->	F 38/-/-
2 . 論文標題	5.発行年
里親養育でのかかわり	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
チャイルドヘルス	45 ~ 48
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
40	ж.
	C Div 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	1
1 节27	л ж
1 . 著者名	4 . 巻
近藤清美	28
2 . 論文標題	5 . 発行年
幼児期以降の子どもの育ちと親子のつながり	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
乳幼児医学・心理学研究	73 ~ 78
30 335 <u>— 1</u> 1 473 4730	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11501/3478798	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
近藤清美	68
以 [[]]	00
A A VITT	_ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
2 . 論文標題	5.発行年
アタッチメント理論のわが国への適用	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
教育と医学	12 ~ 20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
'& U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1 . 著者名	4 . 巻
	_
白井千晶	70
2 . 論文標題	5 . 発行年
春子縁組の出自を知る権利および捜索・再会・交流をめぐる現状と課題	2019年
R J MANEUV LIE CAN OTE TO COLOR TO TO A VAN C ON A OTE TO TO A VAN C OTE TO	2010-
0. 1824.07	C = 12 2 2 2 2 2 2 2 2 2
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人文論集	A65 ~ A80
担動会立のDOL / ごごねリナゴジー ケー神型フト	木芸の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	国际八 目
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

	. "
1.著者名 Uchida Yoshihiro、Takahashi Toshinao、Katayama Shigemasa、Masuya Jiro、Ichiki Masahiko、Tanabe	4.巻 14
Hajime, Kusumi Ichiro, Inoue Takeshi	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Influence of trait anxiety, child maltreatment, and adulthood life events on depressive	2018年
symptoms	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuropsychiatric Disease and Treatment	3279 ~ 3287
Ned opeyon at the Process and Treatment	0270 0207
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2147/NDT.\$182783	有
10.2147/1011.0102100	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22
ыщжиго	
	5 . 発行年
2 . 調又信題 里親養育でのかかわり	2019年
王就食月 (りかがかけ)	2019 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3 . 稚誌石 チャイルドヘルス	り、取例と取後の貝 45-48
テャイルトヘルス	45-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当际六 有
オーノンアクセスとはない、又はオーノンアクセスが困難	<u>-</u>
4 524	4 *
1 . 著者名	4 . 巻
Kondo-Ikemura Kiyomi、Behrens Kazuko Y.、Umemura Tomo、Nakano Shigeru	54
2	F 38/=/=
2.論文標題	5.発行年
Japanese mothers' prebirth Adult Attachment Interview predicts their infants' response to the	2018年
Strange Situation Procedure: The strange situation in Japan revisited three decades later.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	2007~2015
Developmental Psychology	2007 ~ 2015
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	_
10.1037/dev0000577	有
オープンアクセス	国際共著
	四 你不 日
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
	4 4 4
1 . 著者名	4 . 巻
近藤清美	22
0 *\-\	F 38.7= F
2. 論文標題	5 . 発行年
アタッチメントの個人差	2019年
) /WE-I ^/	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3 · 推読石 チャイルドヘルス	6 . 最初と最後の貝 95-98
チャイルドヘルス	95-98
チャイルドヘルス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	95-98 査読の有無
チャイルドヘルス	95-98
チャイルドヘルス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	95-98 査読の有無 有
チャイルドヘルス 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	95-98 査読の有無
チャイルドヘルス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	95-98 査読の有無 有

1.著者名 近藤清美	4.巻 198
2.論文標題	5.発行年
発達障害とアタッチメント	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
こころの科学	56-59
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	K
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
白井千晶	69
2	F 36/-/T
2.論文標題	5.発行年
児童養護施設における性的マイノリティ(LGBT)児童対応調査(ヒアリング調査)結果 - インセスト・タ プーと隠れたカリキュラム -	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人文論集	41-55
/ CZ HIIU/IS	55
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
白井千晶	9
2.論文標題	5 . 発行年
社会的養護とみんなで子育て - フォスターから見える子育てのこれから	2019年
- 4041 5	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
子育で研究	6-13
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左無
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 フンノノ Cハ Clの GV N 人は3 フンノノ Cハル 四無	
〔学会発表〕 計12件(うち招待講演 0件/うち国際学会 4件)	
1.発表者名	
Tanabe, Hajime	
2 . 発表標題	
Social care of children in Japan and Czech Republic: Residential predominance and limited-resou	rces.

3 . 学会等名

4 . 発表年 2021年

32nd International Congress of Psychology @Prague, Czech Republic(国際学会)

1 . 発表者名
Tokuyama, Michiyo
2 . 発表標題
2.笼衣標題 ADHD and attachment trauma among infants in social care in Japan.
none and attachment tradina among infants in social cale in sapan.
3 . 学会等名
32nd International Congress of Psychology @Prague, Czech Republic(国際学会)
4.発表年
2021年
4
1.発表者名
Tanabe, H., & Tokuyama, M.
2.発表標題
Model development to improve capabilities to cope with dissociation and affect dysregulation in a context of social care of
children.
3.学会等名
The 7th biannual conference of the European Society for Trauma and Dissociation. (国際学会)
4 ※主体
4 . 発表年 2010年
2019年
1.発表者名
□ . 宪衣看名 Tokuyama,M., & Tanabe,H.
romyama,m., a randoo,m.
2 . 発表標題
Dissociation in infants in social care.
2 学へ笙夕
3.学会等名 The 7th biannual conference of the European Society for Trauma and Dissociation (国際学会)
The 7th biannual conference of the European Society for Trauma and Dissociation. (国際学会)
4.発表年
4. 光衣牛 2019年
1 . 発表者名
赤堀梓・田辺肇
· ··-·
2 . 発表標題
甘えられない環境が過剰同調性及び解離に及ぼす影響
3.学会等名
日本トラウマティック・ストレス学会第17回大会
4.発表年
2018年

1 . 発表者名 徳山美知代・小川翔大・原田邦江
2 . 発表標題 対人苦手意識に影響を与える2つの要因 セルフモニタリングと自尊感情の関連
3 . 学会等名 日本心理学会第82会大会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 小川翔大・徳山美知代
2 . 発表標題 大学生の愛着スタイルが過剰適応に及ぼす影響
3 . 学会等名 日本心理学会第82会大会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 松尾和弥・大浦真一・島義弘・稲垣勉・福井義一
2 . 発表標題 児童版ECR-RSの青年期への適用 収束的妥当性と弁別的妥当性の検討
3 . 学会等名 日本健康心理学会第31回大会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 大浦真一・松尾和弥・稲垣勉・島義弘・福井義一
2 . 発表標題 潜在的な内的作業モデルの安定性
3 . 学会等名 日本心理学会第82会大会
4.発表年 2018年

1 . 発表者名 松尾和弥・大浦真一・島義弘・稲垣勉・福井義一	
2 . 発表標題 被虐待経験と内的作業モデルが表情の誤検出量に及ぼす影響	
3 . 学会等名 日本心理学会第82会大会	
4 . 発表年 2018年	
1 . 発表者名 大浦真一・松尾和弥・福井義一・張羽寧・高田豊司・森茂起	
2.発表標題 児童養護施設の入所児童が抱える諸問題についての探索的研究8:性別と入所期間,施設タイプの効果.	
3 . 学会等名 日本子ども虐待防止学会第24回学術集会	
4 . 発表年 2018年	
1 . 発表者名 松尾和弥・大浦真一・福井義一・張羽寧・高田豊司・森茂起	
2.発表標題 児童養護施設の入所児童が抱える諸問題についての探索的研究7:同一施設における児童の特徴の類似性.	
3.学会等名 日本子ども虐待防止学会第24回学術集会	
4 . 発表年 2018年	
〔図書〕 計2件	
1 . 著者名 リズ・トリンダー、ジュリア・フィースト、デイビッド・ハウ、白井千晶(監訳)、吉田一史美、由井秀 樹	4 . 発行年 2019年
2.出版社生活書院	5.総ページ数 ²⁵⁶
3.書名 養子縁組の再会と交流のハンドブックーーイギリスの実践から	

1 . 著者名 白井千晶、江連麻紀 	4 . 発行年 2019年
2.出版社生活書院	5.総ページ数 ²⁰⁸
3.書名 フォスター 里親家庭・養子縁組家庭・ファミリーホームと社会的養育	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6. 研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	福井 義一	甲南大学・文学部・教授	
研究分担者	(Fukui Yoshikazu)		
	(20368400)	(34506)	
	白井 千晶	静岡大学・人文社会科学部・教授	
研究分担者	(Shirai Chiaki)		
	(50339652)	(13801)	
	徳山 美知代	東京成徳大学・応用心理学部・教授	
研究分担者	(Tokuyama Michiyo)		
	(70537604)	(32521)	
研究分担者	池邨 清美(近藤清美) (Kondo-Ikemura Kiyomi)	帝京大学・文学部・教授	
	(80201911)	(32643)	

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------